

| <p>岩手県工業技術研究推進会議 材料技術部会議事録</p> | | <p>(実施日) 平成16年10月26日(火)</p> |
|---|---|---|
| <p>(テーマ名) 100円無酸素雰囲気センサーチップの開発 (中間評価)</p> | | |
| 委員 | 質問・意見 | 回答 |
| D委員 | 技術シーズのA社は県内企業？ | 県内企業である。 |
| G委員 | 研究の目標がわからない。 | 事業の目標はセンサーチップの開発である。当センターとしては、分析を通して膜構造を明確にすることであり、その結果からセンサー特性の向上あるいは安定な膜作製に関する技術支援をすることである。 |
| A委員 | このセンサーは使い捨てか？ | 使い捨てである。 |
| D委員 | センサーの膜にトリアジンを使っているが、その目的と膜構造は？ | 膜構造等の詳細については企業秘密である。 |
| A委員 | センターの通常業務(技術支援)とどう違う？ | (下記) |
| H委員 | <p>(上記質問にたいするコメント) 研究代表者である(独)産業技術総合研究所から、当センターに研究委託された事業である。岩手県内企業が本事業に公募し、採択されたことから、地元企業の技術シーズを支援する事業である。</p> | |
| B委員 | 企業名を伏せるのは何故？ | 企業要望である。 |